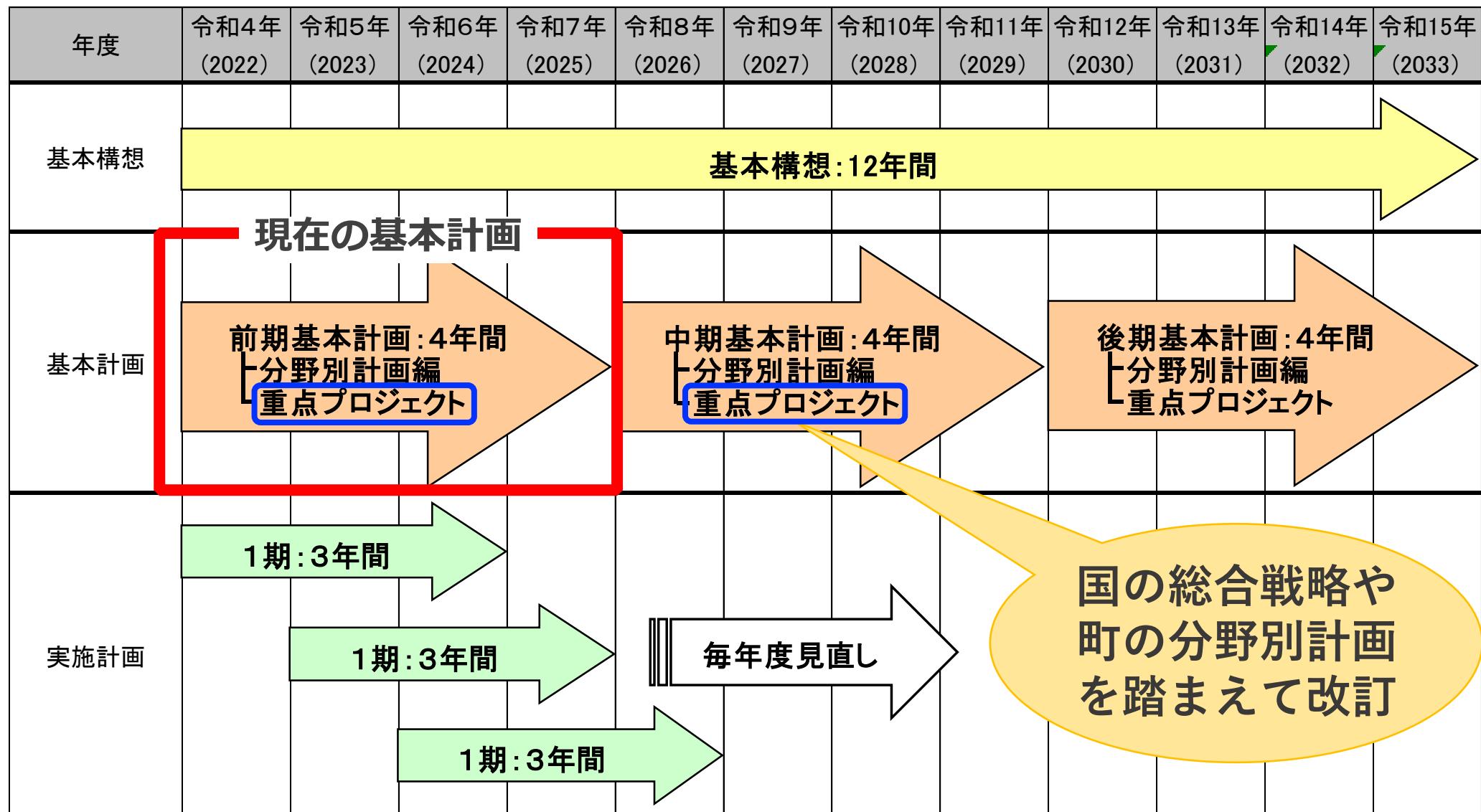


重点プロジェクトについて

2025.12.18

企画総務部総合政策課

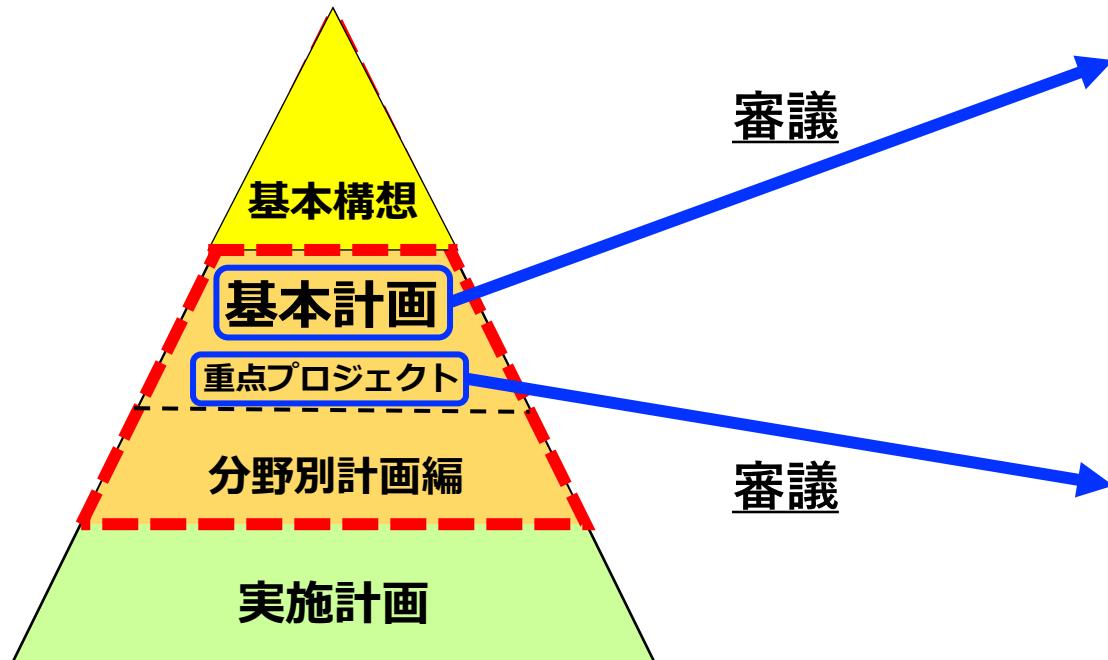
重点プロジェクトについて① (総合計画の計画期間等)



→ 基本構想は令和15年まで共通であるため、抜本的な改訂は行わない。

重点プロジェクトについて② (審議会・総合戦略部会)

○総合計画と審議会・部会の関係図



政策推進審議会

→総合計画全体について審議及び行政評価を実施

双方が連動した効果的・効率的な計画となるよう、審議会と部会の両方を兼任する委員を配置し、効率的に議論を進める。

総合戦略部会

→国の地方創生2.0を踏まえて、重点プロジェクトの策定・更新に係る審議並びに目標の達成状況及び進捗状況についての効果検証を実施

○総合戦略部会構成

		団体等	役職	委員
1	学	畿央大学 健康科学部	准教授	清水 裕子 (兼任)
2	産	広陵町商工会	事務局長	西川 美和子 (兼任)
3	産	広陵町農業委員会	会長	松村 和親 (兼任)
4	官	広陵町	副町長	中川 保
5	学	広陵町子ども子育て会議	会長	上田 恵子
6	学	広陵町PTA連絡協議会	会長	駒井 章人
7	金	南都銀行	箸尾支店長	市田 智代
8	労	大和高田公共職業安定所	所長	三宅 章仁
9	言	広陵・竹取ラジオ		杉本 洋之 (兼任)
10	士	町内司法書士		徳田 黙

重点プロジェクトについて③（効果検証）

効果検証の項目

- ①重点プロジェクトの基本目標Ⅰ～Ⅲに掲げる施策の進捗状況
- ②地域再生計画を策定し、実施する国庫補助事業等の状況

①の基本目標について（R8～R11は更新予定）

基本目標Ⅰ：次世代を担う子どもが輝けるまち

基本目標Ⅱ：地域が活性化するまち

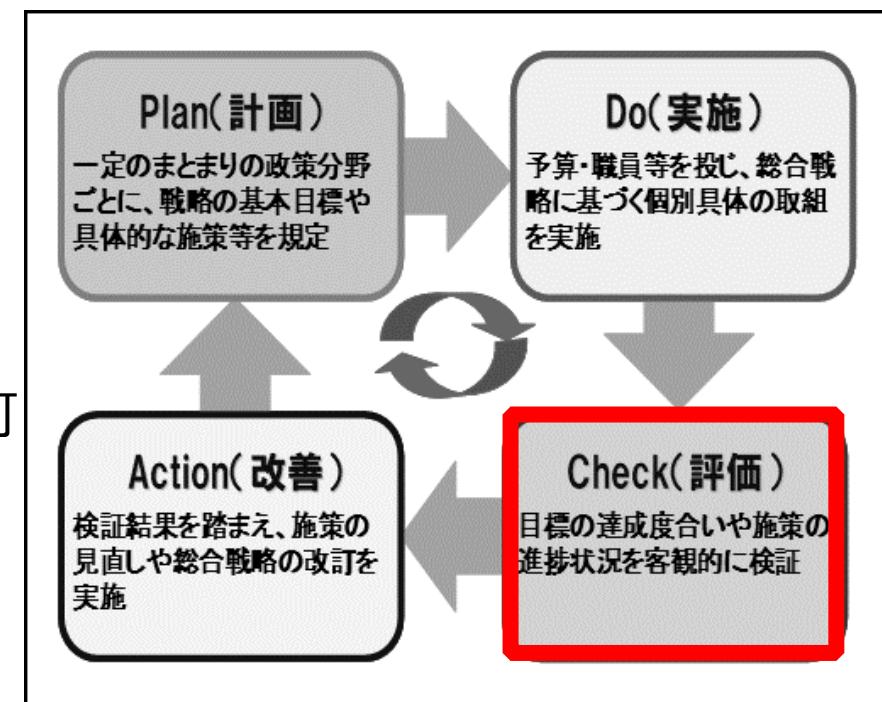
基本目標Ⅲ：生活基盤が充実したまち・誰もが
安全・安心して暮らせる充実したまち

②の対象事業について（R6）

- ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金
- ・デジタル田園都市国家構想交付金
(デジタル実装型)
- ・デジタル田園都市国家構想交付金
(推進タイプ)
- ・奈良県移住・就業・起業支援事業における広陵町
移住支援金

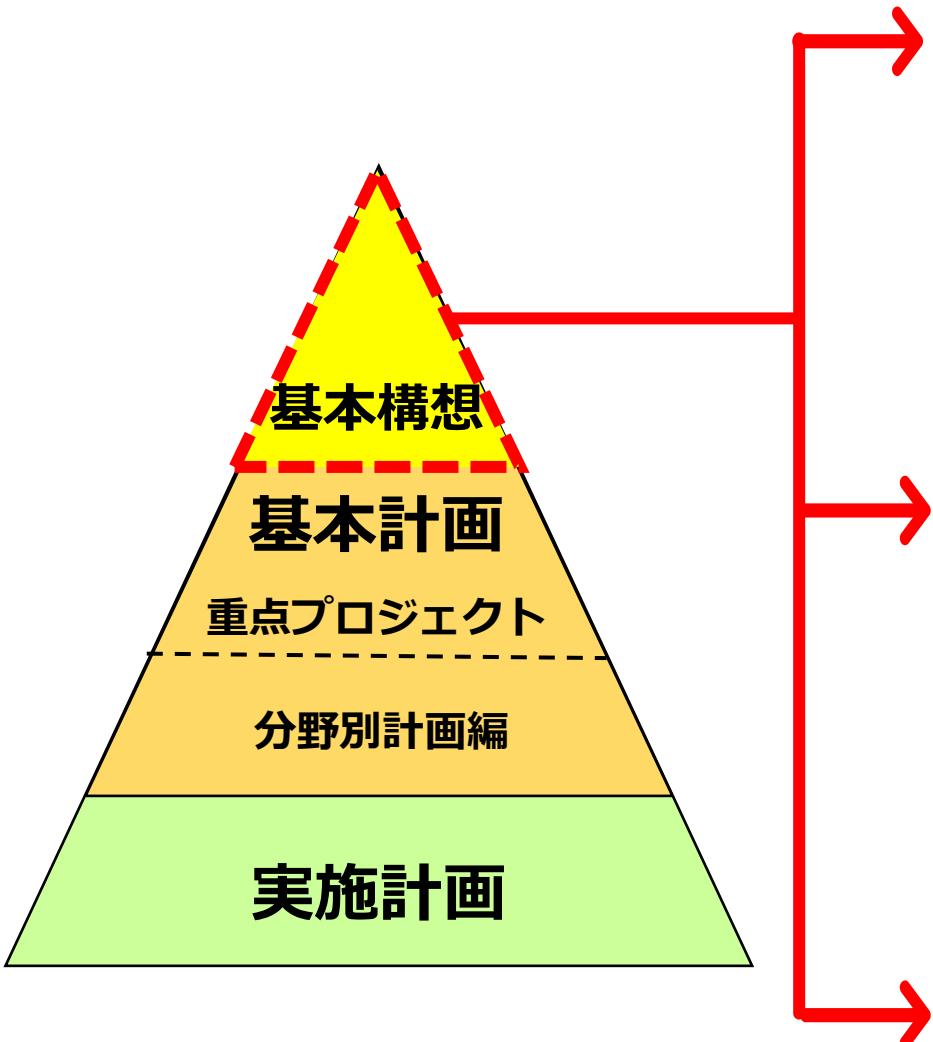
〈総合戦略の進捗管理のイメージ〉

出典：内閣府地方創生推進室「地方版総合戦略策定・効果検証のための手引き（令和5年12月版）」に基づき作成



重点プロジェクトについて④（総合計画の基本構想）

計画期間：12年間



まちの将来像

be Happy

~未来につながるまち 広陵~

まちづくりの基本理念

広陵町自治基本条例に掲げた4つの基本理念を、「まちの将来像」の実現に向けてすべての政策・施策等の根底に共通するまちづくりの基本的な考え方（理念）として掲げることとします。

* * *まちづくりの基本理念* * *

- (1) 町民一人一人の基本的人権が守られ、多様性を認め合いながら、子どもから高齢者まで、性別、国籍、民族、障がいの有無その他の属性にかかわらず、安全かつ安心して暮らすことができるまちをつくること。
- (2) 町民、町議会、町長等が、また国及び県と町が、対等な立場でそれぞれの役割を担いながら連携し、協働して、公正で自立した町政を行うまちをつくること。
- (3) 町民及び町は、まちの歴史や自然を大切にし、環境との共生を図るために、次世代に引き継ぐことができるまちをつくること。
- (4) 町民が情報を共有し、町内外の交流を図りながら、人と人とのつながりを大切にし、自発的に助け合い、支え合うまちをつくること。

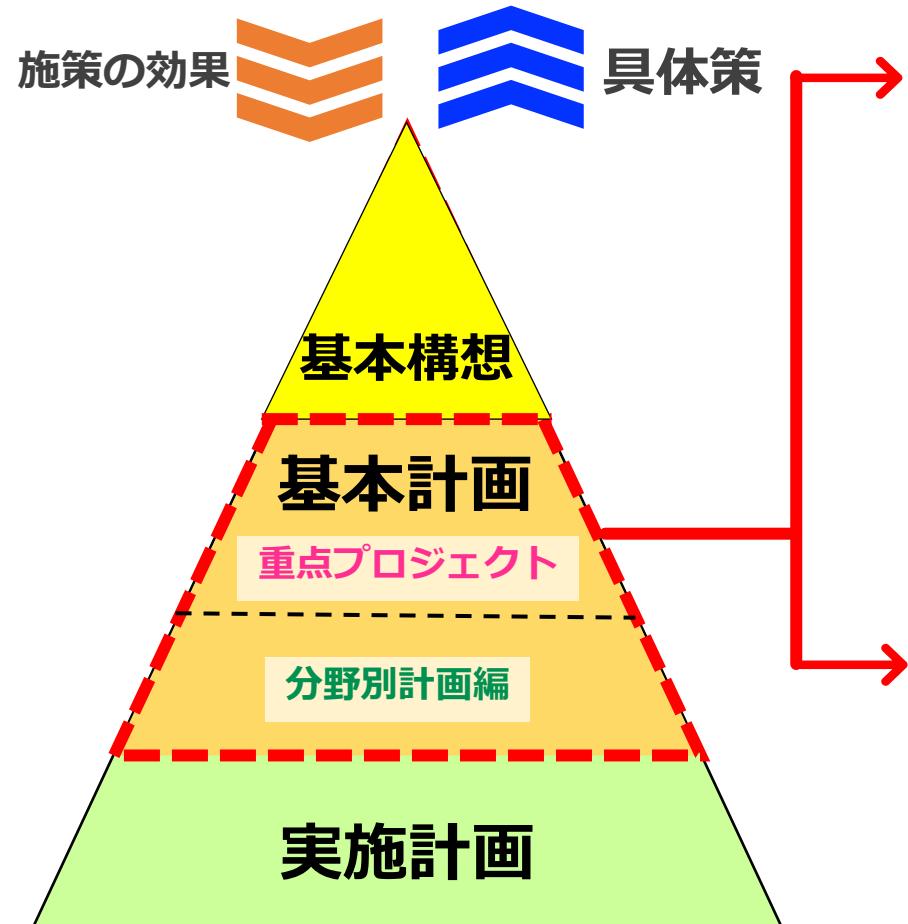
まちづくりの基本目標及び自治体経営の基本方針

6つ
の基本目標
及び自治体経営の
基本方針

- 1 自然と人が調和したまち
- 2 生活基盤が充実したまち
- 3 次世代を担う子どもが輝けるまち
- 4 誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち
- 5 地域のきずなを深め、表現豊かな力強いまち
- 6 地域が活性化するまち
- 7 健全で効果的・効率的な行財政運営の推進

重点プロジェクトについて⑤（関係図）

第2次広陵町人口ビジョン
将来人口展望
2060年3万人



計画期間：4年間

*首長の任期に合わせる。

重点プロジェクト

「第2次広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に該当

- ・人口減少問題への対応
- ・地域経済の活力の維持・増進など
- ・分野横断的かつ重点的・優先的に推進していく施策群を示したもの

3つ
の基本目標

- 1 次世代を担う子どもが輝けるまち
- 2 地域が活性化するまち
- 3 生活基盤が充実したまち
誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち



施策の具体化

分野別計画編

基本目標 1

自然と人が調和したまち

町の取り組み

- ・公園の保全と緑化の推進
- ・環境保全の推進
- ・環境衛生の充実

基本目標 2

生活基盤が充実したまち

町の取り組み

- ・地域特性を活かしたまちづくりの推進
- ・良好な住環境の保全・形成
- ・将来にわたる持続的上・下水道事業の推進
- ・道路・公共交通の充実

基本目標 3

次世代を担う子どもが輝けるまち

町の取り組み

- ・子育て支援の充実
- ・青少年の健全育成
- ・学校教育の充実

基本目標 4

誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち

町の取り組み

- ・防災・減災体制の強化
- ・防犯・交通安全の充実
- ・保健・医療の充実
- ・高齢者福祉の充実
- ・障がい者福祉の充実
- ・地域福祉の充実
- ・社会保障の適正運用

基本目標 5

地域のきずなを深め、表現力豊かな力強いまち

町の取り組み

- ・生涯学習の推進
- ・地域コミュニティの育成
- ・スポーツの振興
- ・文化芸術の振興と文化財の保存・活用
- ・人権尊重・非核平和、男女共同参画、多文化共生の推進

基本目標 6

地域が活性化するまち

町の取り組み

- ・農業の振興
- ・地域経済の振興
- ・観光・交流の振興

+ 自治体経営編

基本目標 7

健全で効率的・効率的な行政運営の推進

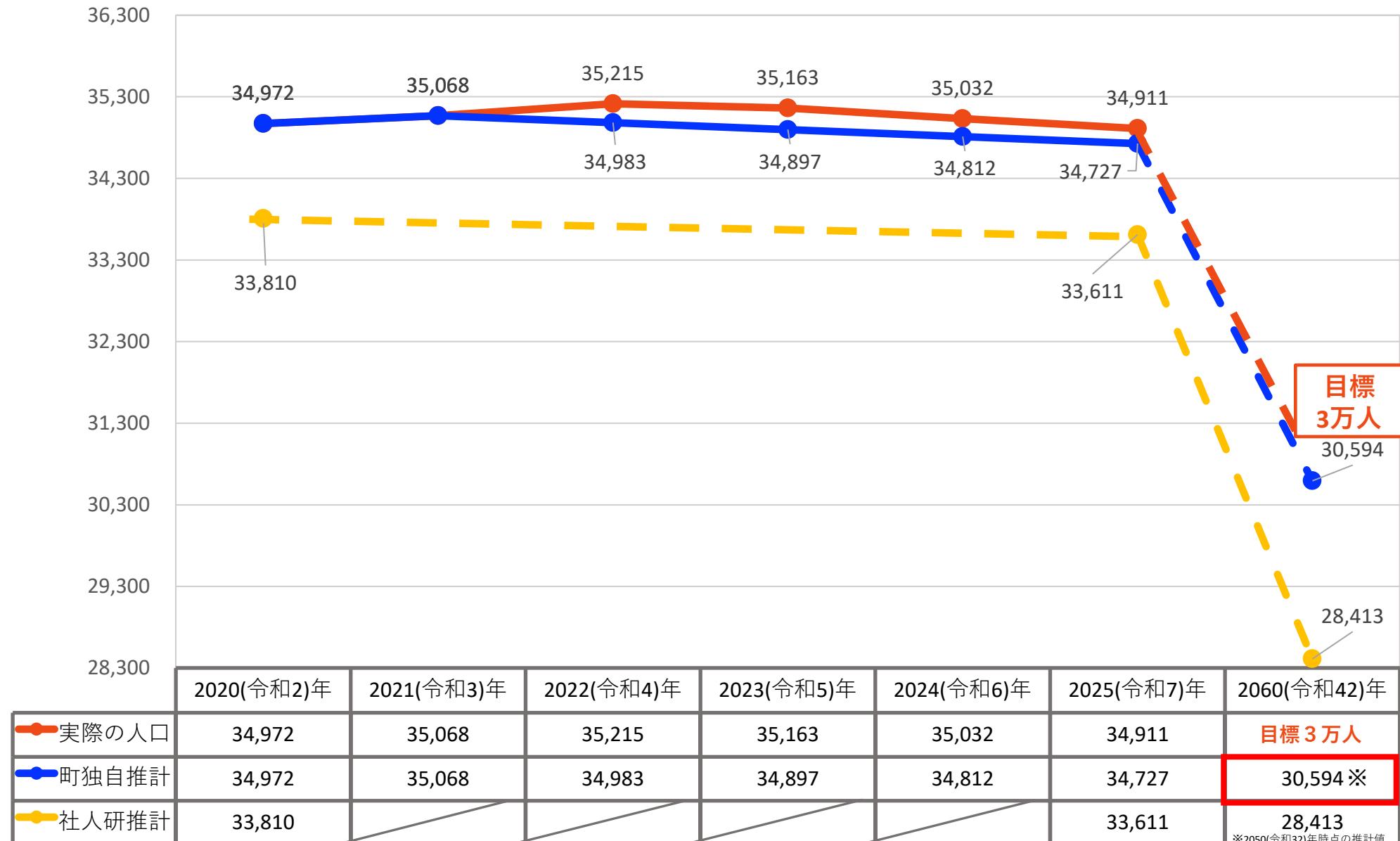
町の取り組み

- ・効率的・効率的な行政運営の推進
- ・健全な財政運営の推進
- ・公共施設マネジメントの推進
- ・協働・連携によるまちづくりの推進

重点プロジェクトについて⑥ (人口動態)

第2次総合戦略及び人口ビジョン策定時における2060年の目標人口3万人

→実際の人口は、当該目標人口を前提とした推計より高い水準で推移しており、社会動向の変化も踏まえて時点修正を行います。



重点プロジェクトについて⑦（国の総合戦略等）

○地方創生1.0（2015年～）

総合戦略の4つの柱

- 1 地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする
(反省点)
 - ・地方での雇用の創出が中心
 - ・情報通信は当時の技術を前提（ICT・ブロードバンド等）
- 2 地方への新しいひとの流れをつくる
(反省点)
 - ・都市から地方への人の流れを目指したが、道半ば
- 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
(反省点)
 - ・人口減少に歯止めをかけるための取組に注力
 - ・安定的な雇用創出や子育て支援等を推進したが、流出が継続
- 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
(反省点)
 - ・市町村で様々な取組が実施されたが面的な広がりに欠けた

○地方創生2.0（2025年～）

基本構想の政策パッケージの5本柱

- 1 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 **基本目標1、2**
「若者・女性」への着目、人口減少が進む中でも社会を維持
- 2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
人口減少局面でも稼げる地方を創る **基本目標3**
- 3 人や企業の地方分散
関係人口を活かした都市と地方の支え合い
- 4 新時代のインフラ整備とAI・デジタル等の新技術の徹底活用 **基本目標4**
生成AI活用や、半導体産業・データセンターの地方分散
- 5 広域リージョン連携 **基本目標1、2、3、4**
自治体の区域を超えた経済の観点でも官民連携のプロジェクト

○新重点プロジェクト（第3次広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略）

上記の国の総合戦略の見直しを踏まえて、人口減少問題への対応や地域経済の活力の維持・増進など、本町が将来にわたって活力ある地域社会を形成するために、限りある行政の経営資源（財源、職員、施設等）をより無駄なく最適に活用しながら、分野横断的かつ重点的・優先的に推進していく施策群として次の4つの基本目標を設定することとします。

4つ
の基本目標

- 1 誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち ⇒ まち
- 2 新しい命を育み、次世代が輝くまち ⇒ ひと
- 3 稼ぐ力を高め、地域が躍動するまち ⇒ しごと
- 4 まち、ひと、しごとを支え高めるDX推進のまち ⇒ DX

重点プロジェクトについて⑧ (新旧対照)

現行の重点プロジェクト

(第2次広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

3つ

の基本目標

- 1 次世代を担う子どもが輝けるまち
- 2 地域が活性化するまち
- 3 生活基盤が充実したまち
誰もが安全・安心して暮らせる充実したまち



施策の具体化

分野別計画編



新重点プロジェクト

(第3次広陵町まち・ひと・しごと創生総合戦略)

4つ

の基本目標

- 1 誰もが安全・安心に暮らし続けられるまち
- 2 新しい命を育み、次世代が輝くまち
- 3 稼ぐ力を高め、地域が躍動するまち
- 4 まち、ひと、しごとを支え高めるDX推進のまち



施策の具体化



施策の具体化
(追加)

分野別計画編



<Point>

①国の総合戦略に合わせ、まち、ひと、しごとの順に組み替え

旧 ⇒ 新
3 ⇒ 1
1 ⇒ 2
2 ⇒ 3

②国の総合戦略及び令和6年に策定した広陵町DX推進計画を踏まえ、基本目標の4つ目として「DX」を追加

重点プロジェクトについて⑨（新重点プロジェクトの体系）



【基本目標Ⅰ】

誰もが安全・安心に
暮らし続けられるまち

基本的方向1：安全・安心のまちづくり

- (1) 防災・防犯体制の強化
- (2) 道路・通学路の安全対策
- (3) 健康寿命延伸の推進
- (4) 地域包括ケア・見守り体制の充実

基本的方向2：魅力的な生活環境の形成

- (1) まちの移動機能の充実
- (2) コンパクトなまちづくりの推進
- (3) 多様な暮らし方の推進



【基本目標Ⅱ】

新しい命を育み、
次世代が輝くまち

基本的方向1：切れ目ない子育て支援の充実

- (1) 妊娠・出産支援の強化
- (2) 子育て世代への支援の充実
- (3) 保育・教育環境の質的向上

基本的方向2：学び育む教育環境の充実

- (1) 学びや教育の総合的な環境向上
- (2) 地域を愛する心の醸成



【基本目標Ⅲ】

稼ぐ力を高め、
地域が躍動するまち

基本的方向1：広陵の産業力強化

- (1) 基幹産業の経営力等の強化
- (2) スタートアップ・起業支援の強化
- (3) 企業誘致・産業用地整備

基本的方向2：広陵の農業力強化

- (1) 農業基盤の強化
- (2) 担い手確保・育成
- (3) ブランド化・6次産業化の推進

基本的方向3：観光・広陵ブランドの振興

- (1) タウンプロモーションの強化
- (2) まちの魅力コンテンツ等の充実



【基本目標Ⅳ】

まち、ひと、しごとを支え
高めるDX推進のまち

基本的方向1：DXで進めるまちづくり

- (1) まちづくりへのデジタル技術の活用
- (2) 情報発信の多様化とデバイド対策

基本的方向2：DXで進める行政サービス変革

- (1) 窓口DXの推進
- (2) 業務効率化とデジタル人材の育成

【凡例】赤字：追加 青字：拡充等